

日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修単位シール 申請から終了報告まで手順書

※研修単位シールの申請は、
研修会開催予定日の **5週間前**までに J-HOP 事務局へ提出してください。

- ① 「日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位シール申請書」ならびに、
「日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修会申請書」を記載し
J-HOP 事務局へお送りください。

*タイムスケジュールが記載された研修会告知用チラシを PDF データにて
ご送付下さい（メール送付ができない場合には、郵送してください）。

*提出は、可能な限りメールにてお願いします。
（メール送付ができない場合には、郵送してください。）

- ② 事務局へシールが届き次第、担当者へシールを送付致します。

※研修会終了後、**3週間以内**に
残余シール、研修会終了報告書を事務局までお送りください。

- ③ 研修会が終了しましたら、「研修会終了報告書」を作成し、残余シールと共に
J-HOP 事務局へお送りください。

*報告書はメールにてお送り頂いても結構です。

*残余シールの送付代金は其方でご負担下さい。

ご不明な点等ございましたら事務局までご連絡下さい。

事務局 E-mail : j-office@lifemedicom.co.jp

シール送付時にご使用下さい。

〒111-0054

東京都台東区鳥越 2-13-8

(株式会社ライフメディコム内)

J-HOP 事務局

伊藤 清恵 宛

日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位シール

申請書

西暦 年 月 日

一般社団法人
全国薬剤師・在宅療養支援連絡会
事務局御中

《報告者》
氏名：

別紙の研修会申請書の通り申請致します。

シールの 送付先	住所：〒 担当者氏名： TEL： ()
申請単位・シール枚数	申請単位 (単位) 申請枚数 (枚)
研修会 スケジュール詳細 記入例) 9：00～9：30 挨拶 9：30～10：30 講演 1 10：30～11：30 講演 2	
そ の 他	

《提出先》事務局 E-mail：j-office@lifemedicom.co.jp

日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修会申請書

申請者： _____

ブロック名：

研修会名称																					
開催日	年（西暦）	月	日																		
開催時間	時	分	～ 時 分																		
	例) 13時00分～17時00分																				
会場名																					
主催・共催	<input type="checkbox"/> 主催 <input type="checkbox"/> 共催 チェックを入れて下さい 主催・共催者名： _____ 例) J-HOP〇〇ブロック等																				
参加費徴収額 (1名あたり)	会員	円	非会員 円																		
	その他	円																			
受講者募集人数（予定）	名																				
講演内容詳細	<p>※研修会プログラムの講演順に入力してください。</p> <p>※1つのカリキュラム項目に対し演題が複数の場合は、演題名を演題毎に「,」で区切って、1マスに演題名全てを入力してください。</p> <p>※カリキュラム項目を「なし」と選択した場合は、演題名は研修会名を入力してください。</p> <p>・講演ごとの講師名（所属）を必ず記載して下さい。 1つの講演に複数名講師がいる場合は余白または別紙に記入して下さい。</p> <p>・講演数が足りない場合は同じ用紙を使用し、講演番号を修正し記入して下さい。</p> <p><講演 1> 講師名： _____ (所属： _____)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>演題名</th> <th>カリキュラム項目</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p><講演 2> 講師名： _____ (所属： _____)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>演題名</th> <th>カリキュラム項目</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p><講演 3> 講師名： _____ (所属： _____)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>演題名</th> <th>カリキュラム項目</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			演題名	カリキュラム項目	単位				演題名	カリキュラム項目	単位				演題名	カリキュラム項目	単位			
演題名	カリキュラム項目	単位																			
演題名	カリキュラム項目	単位																			
演題名	カリキュラム項目	単位																			

日病薬病院薬学認定薬剤師制度用

研修会終了報告書

西暦 年 月 日

一般社団法人
全国薬剤師・在宅療養支援連絡会
事務局御中

《報告者》
氏名：

※研修会終了後、3週間以内に残余シールと報告書を事務局までお送りください。

研修会参加人数 (薬剤師のみ)	名 (薬剤師参加人数 名)
シール単位枚数	受取枚数 (単位 枚) 使用枚数 (枚) 返却枚数 (枚)
備考	

《送付先》

〒111-0054

東京都台東区鳥越 2-13-8

J-HOP 事務局(株式会社ライフメディコム内)

伊藤 清恵 宛

E-mail : j-office@lifemedicom.co.jp

1. 日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修カリキュラム一覧

	研修番号	項目	目標
Ⅰ. 医療倫理と法令を順守する	I-1	薬剤師の使命と責任	生命の尊さを認識し、臨床現場における生命倫理の重要性を理解する。
	I-2	医療制度	質の高い医療を提供するため、医療に関する制度を理解する。
	I-3	法令順守	質の高い医療を提供するため、薬剤師業務に関わる法律を理解する。
Ⅱ. 基本的業務の向上を図る	Ⅱ-1	調剤	患者情報を収集し、薬歴に基づいた処方監査、疑義照会を経て、調剤し交付する。
	Ⅱ-2	製剤	ガイドライン等に準拠し、必要な院内手続を経て、品質を保証した製剤を供給する。
	Ⅱ-3	医薬品情報	適正使用のための医薬品情報を収集・評価し、適切に情報提供する。
	Ⅱ-4	医薬品管理	医薬品の適正使用を目的として、品質の確保など法に則り適正な医薬品等の管理・供給の役割を担う。
	Ⅱ-5	マネジメント	業務の適正化、職能拡大のために経営的視野を含めたマネジメント力を養成する。
	Ⅱ-6	教育・研究	質の高い医療人養成を目指した実務実習を支援し、医療の高度化、多様化に対応できる研究マインドをもつ。
Ⅲ. チーム医療を実践する	Ⅲ-1	病棟・外来業務 (医療コミュニケーション)	患者に最適な薬物療法を提供するため、治療効果の向上と副作用の防止に努め、チーム医療を実践し患者の利益に貢献する。
	Ⅲ-2	連携	薬剤師の役割を理解し、職種間・施設間で協働して薬物療法を支援する。
Ⅳ. 医療安全を推進する	Ⅳ-1	リスクマネジメント (医薬品安全管理)	医療事故は日常的に起こり得ることを認識し、適切な情報を基にした医薬品の安全使用をはじめ、安全・安心の医療を実践する。
	Ⅳ-2	感染制御・管理	消毒薬、抗菌薬の適正使用など、感染制御・管理を通じて安全で適切な環境作りを支援する。
Ⅴ. ファーマシューティカルケアを実践する	V-1	医薬品（製剤）特製	医薬品（製剤）の特性を理解し、適切な薬物療法を支援する。
	V-2	疾病・薬物療法	疾病と病態を理解し、適切な薬物療法を支援する。
	V-3	患者特性	患者特性に応じて、適切な薬物療法を支援する。

2. 研修区分と単位基準

- (1) 日病薬が認定する研修会：90分1単位
- (2) 日病薬が認定するe-ラーニング：90分1単位
- (3) 薬剤師認定制度認証機構から認証を受けた他の生涯研修プロバイダーの研修：90分1単位

3. 認定要件・更新要件

●認定要件

- (1) 本会正会員又は特別会員（保険薬局勤務・大学教員等の薬剤師）であること
- (2) 過去3年度を通算して50単位以上を取得し、かつ下記①～③のすべてを満たすこと
 - ①日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修カリキュラムのうち、下記の項目の単位数を取得していること
 - I-1～3の各項目の中から1項目以上履修し、合計2単位以上取得すること
 - II-1～6の各項目の中から2項目以上履修し、合計4単位以上取得すること
 - III-1～2の各項目を履修し、合計4単位以上取得すること
 - IV-1～2の各項目を履修し、合計4単位以上取得すること
 - V-1～3の各項目を履修し、合計6単位以上取得すること

- ②薬剤師認定制度認証機構から認証を受けた他の生涯研修プロバイダーから付与された単位は有効とする。ただし、日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修カリキュラムに沿った内容の研修会あり、かつ通算50単位のうち10単位以下であること
- ③毎年度（4月1日から翌年3月31日まで）10単位以上取得していること
- (3) 日病薬病院薬学認定薬剤師認定試験に合格すること

●更新要件

- (1) 本会正会員又は特別会員（保険薬局勤務・大学教員等の薬剤師）であること
- (2) 過去6年度を通算して100単位以上を取得し、かつ下記①～③のすべてを満たすこと
- ①日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修カリキュラムのうち、下記の項目の単位数を取得していること
- I-1～3の各項目の中から1項目以上履修し、合計4単位以上取得すること
 - II-1～6の各項目の中から2項目以上履修し、合計8単位以上取得すること
 - III-1～2の各項目を履修し、合計8単位以上取得すること
 - IV-1～2の各項目を履修し、合計8単位以上取得すること
 - V-1～3の各項目を履修し、合計12単位以上取得すること
- ②薬剤師認定制度認証機構から認証を受けた他の生涯研修プロバイダーから付与された単位は有効とする。ただし、日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修カリキュラムに沿った内容の研修会あり、かつ通算100単位のうち20単位以下であること
- ③毎年度（4月1日から翌年3月31日まで）10単位以上取得していること
- (3) 日病薬病院薬学認定薬剤師認定試験に合格すること